＜報道関係各位＞

2026年11月25日

ギリアド・サイエンシズ株式会社

ギリアド、「PRIDE 指標 2026」の「レインボー」認定を 2 年連続、「ゴールド」認定を 4 年連続で取得

ギリアド・サイエンシズ株式会社（以下「ギリアド」、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：アンドリュー・ヘクスター）は、LGBTQ+など性的マイノリティが働きやすい職場づくりを日本で実現するために一般社団法人 work with Pride が策定した「PRIDE 指標」にて、4 年連続でゴールド認定を取得しました。また、ゴールド認定企業の中から、コレクティブ・インパクト型の取り組みを推進する団体を評価する「レインボー」認定にも選出されました。「レインボー」認定は初回となった昨年に続き 2 年連続となります。

当社は、2012 年の日本法人創設以来、以下の理念に基づき、インクルージョン＆ダイバーシティを推し進めています。

- 多様な従業員に選ばれる企業になること
- 異なることがイノベーションを生み、ミッションを実現する原動力となるインクルーシブな文化を醸成すること
- 公平で、かつ社会的責任を全うする企業として認識されること

ギリアドでは、LGBTQ+の理解促進とアライ（支援者）の輪を広げるために、従業員リソースグループ（ERG）「Pride Alliance」を中心に、社員向けの研修やワークショップ開催などの活動を展開しています。昨年に比べて 2026 年には新たにアライが約 20%増え、現在では全従業員の約 3 割が参加する ERG へと成長しています。また社外においては、Tokyo Pride を始めとする全国各地のレインボープライドへの協賛や、LGTBQ＋コミュニティとの協働を通じたヘルスケア向上を目指す取り組みにも力を入れています。さらに、他団体との連携のもと、独自の LGBTQ+啓発プログラム「コトノハフワリ」を開発するなど、インクルージョン＆ダイバーシティのさらなる推進に取り組んでいます。

今回の認定を受け、ギリアド代表取締役社長のアンドリュー・ヘクスターは次のように述べています。「インクルージョン＆ダイバーシティは、当社のカルチャーの根幹をなす重要な価値観の一つです。そのため、4 年連続で PRIDE 指標の『ゴールド』認定を受けたこ

とを大変うれしく思います。また、LGBTQ+当事者や団体との協働を通じた新たなコミュニティ支援などが評価され、昨年に続き『レインボー』認定を取得できたことも意義深いことです。多様な視点が交わることにより、イノベーションは促進されます。これからもよりインクルーシブな社会の実現に向けて、歩みを進めてまいります」

ギリアド・サイエンシズについて

ギリアド・サイエンシズは、全ての人々にとって、より健康な世界の実現を目指し、35 年以上にわたり医療の革新を追求し、飛躍的な進歩を遂げてきたバイオ医薬品企業です。当社は、HIV、ウイルス性肝炎、COVID-19、がん、炎症性疾患といった生命を脅かす疾患の予防と治療のため、革新的な医薬品の開発に取り組んでいます。カリフォルニア州フォスターシティに本社を置き、世界 35 カ国以上で事業を行っています。